

リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立高殿小学校（大阪市）【指定校】

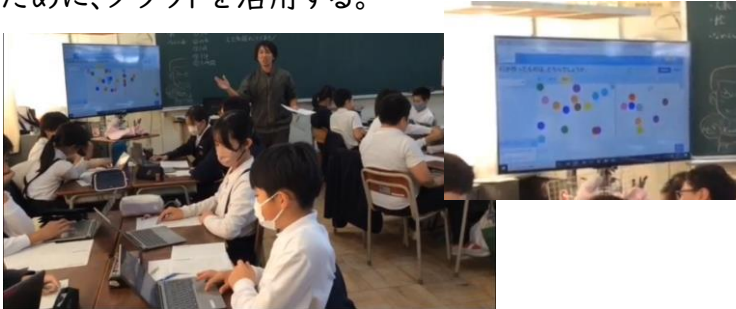
<教育利用> 情報モラル教育「AIについての正しい知識を身につけよう」

事前準備

- ① 生成AIを利用して作成された画像を準備
- ② 2つの比較資料や情報を準備
 - ・物語、詩、新聞記事の3種類
 - ・一方はCopilotを利用して作成

学びを深めるために

友だちの考えの変化をリアルタイムに参照できるようにするために、クラウドを活用する。



児童の反応

- ・生成AIが作成したかどうかを見抜くのはとても難しかったです。
- ・インターネット上の情報をすぐに信じるのではなく、様々な資料と照らし合わせたり、自分の経験をもとにして考えたりすることが大切だと感じました。



授業の流れ

1 AIについて知る

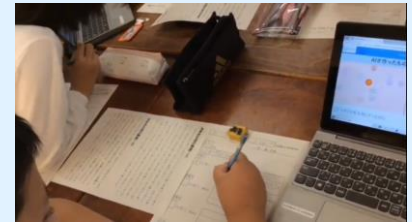
生成AIを利用して作成された画像の制作期間について考え、AI（生成AIを含む）についての基本的な知識を確認する。



2 2つの資料や情報を比較する（物語、詩、新聞記事）

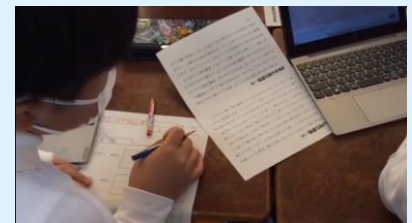
資料や情報を比較し、どちらがCopilotを利用して作成したものかを予想する。クラウド上で共有された友だちの考えを参照しながら、判断の根拠を明らかにして説明する。

※ 判断するための観点については、全体で段階的に確認する。



3 自分の考えをまとめる

本時に学んだことを振り返り、今後、どのように生成AIを活用したいのかについて、自分の考えをまとめる。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立高殿小学校（大阪市）【指定校】

<教育利用> 国語科「心が動いたことを十七音で表そう」

事前準備

- ① 児童が作成した俳句をMicrosoft Formsで回収
- ② Copilotを利用して、修正のポイントを記載した個別のアドバイスを作成

学びを深めるために

必要に応じて、Teamsで共有された季語の一覧を参照したり、インターネットで調べたりする。



オノマトペの例が知りたいときなどは、指導者によるCopilotへのプロンプトの代理入力により、アドバイスを返却する。



児童の反応

- ・生成AIからのアドバイスは、納得できない部分もあったけれど、友だちと相談して、いくつか参考にしました。
- ・オノマトペの例をたくさん出してくれてよかった。「切れ字」などの難しいアドバイスは、自分なりに調べることができました。



授業の流れ

1 生成AIからのアドバイスを確認

指導者がCopilotを利用して作成したアドバイスを確認する。近くの友だちと交換して、アドバイスの違いを比較する。



2 俳句の表現を工夫する

Copilotや友だちからのアドバイスを参考にして、俳句の表現を工夫する。
わからないことがあれば、必要に応じて、Teamsで共有された季語の一覧を参照したり、インターネットで調べたりする。
友だちへアドバイスをする際は、自分の考えの根拠を明らかにして説明する。



3 自分の考えをまとめる

表現を工夫する際に、Copilotや友だちからのアドバイスのどの部分を参考にしたのかを明らかにして、学習した内容を振り返る。

